

# 宮島口まちづくり国際コンペ

International Urban Planning Competition for Miyajimaguchi Area

## 開催趣旨

宮島口地区は世界遺産・厳島神社への玄関口であり、年間400万人を超える人が、この地区から厳島（宮島）に渡っていきます。今後も、海外からの来訪者が増えるものと考えられ、これらの人々を迎え入れる宮島口地区の役割はますます重要になってきます。

しかし現状においては、渋滞問題（駐車場問題）への対応や、よりよい景観づくり、賑わいづくり、安全なみなどづくりなどへの対応が必要になっています。

宮島口地区では、現在、昭和38年（1963年）以来、50余年ぶりに埋立工事が行われています。廿日市市及び広島県では、この埋立工事によって造成される約1haの土地を有効に活用して、まず当地で課題となっている「旅客ターミナルの機能充実（新たな棧橋の整備も含む）」

「臨海緑地の整備」「交通渋滞の解消」といった課題に取り組んでいるところです。またこれと並行して、地区全体の課題である景観の向上、賑わいの創出、観光魅力の向上、生活の利便性の向上などを図り、地区全体としてのまちづくりを進めていくものとしています。



こうしたまちづくりにおいて大切なことは、地区が発展していくために、地区住民はじめ多くの関係者が共有でき、意思を一つにして協力しながらまちづくりを進めていくことができる「骨格となるビジョン（グランドデザイン）」を示すことだと考えています。また相反する課題（例えば自動車に便利なが必ずしも歩行者に快適とは限りません）を克服していくための「知恵と工夫」も必要です。

そこで、日本を代表する世界の文化遺産「宮島」の玄関口にふさわしい、まちづくりの知恵と工夫についてのアイデアを、世界中の専門家に募集することにしました。それがこの「宮島口まちづくり国際コンペ」です。

この国際まちづくりコンペは、平成27（2015）年2月6日から事前登録を行い、国外からの115件を含め、1,004件の登録がありました。また同年5月11日からの作品受付では、国外の15件を含め、230件の応募がありました。

この230作品を審査委員会で審査し、8月27日に入賞8作品および特別賞1作品が選出されました。これらの作品は、10月17日の最終審査で賞の内容（優秀賞3作品、佳作5作品）が決定する予定です。ここに入賞8作品を展示いたします。

展示作品から、提案された方々の宮島口に対する「思い」や「描かれた将来像」「まちづくりのアイデア」などを読み取っていただければ幸いです。

また、会場に備えておりますアンケート用紙に、皆さま方の宮島口地区に対する「思い」や「ご意見」をご記入いただくことで、皆さま方も宮島口のまちづくりにぜひご参加いただきたいと思ひます。

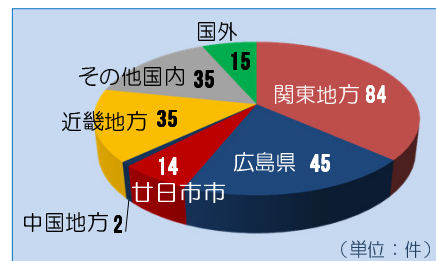
平成27（2015）年9月  
主催 廿日市市  
共催 広島県

### ■事前登録状況

国内	国外*	合計
889件	115件	1,004件

\* 29カ国（上位5カ国：中国31、ロシア15、ドイツ11、ブルガリア7、アメリカ7）  
（注）グループ応募の場合は代表者の住所による。

### ■応募者の居住時



### ■応募状況

国内	国外*	合計
215件	15件	230件

\*（9カ国・地域）  
（注）グループ応募の場合は代表者の住所による。

### ■応募者の職業・所属

	国内	国外	計
建築事務所、建築家	81	8	89
大学教員	37	2	39
学生・院生	32	2	34
都市計画コンサルタント	14	0	14
シンクタンク、デザイン、住宅・不動産、その他サービス	13	1	14
ゼネコン、デベロッパー	6	0	6
その他	32	2	34
計	215	15	230

## 開催の経緯

平成21年3月

「廿日市市第5次総合計画」策定

宮島・宮島口を歴史的文化的発信拠点として位置付け

平成22年3月

「宮島口みなとづくり整備計画」策定

みなと（埋立）に特化した計画

平成23年11月

「宮島口地区まちづくり委員会」設置

「宮島口地区環境整備素案」作成  
みなとだけでなく背後のまちづくりを行うための計画に発展

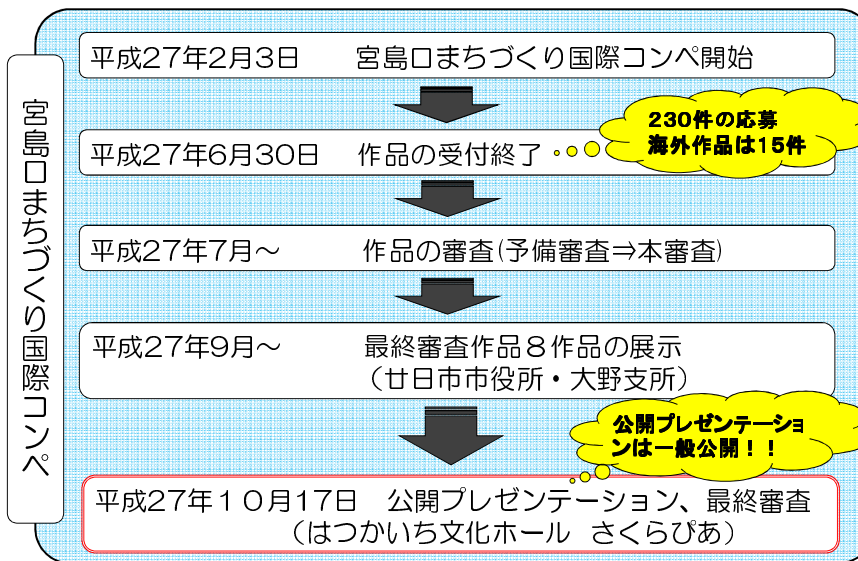
平成25年3月

「宮島口まちづくり推進協議会」設置

まちづくりを推進するための協議会を設置  
国、県、市、地元商店会、商工会、地域住民漁協、JR、広電、フェリー会社等で構成

平成27年2月

まちづくりを具体化するためのアイデアを募集



## 宮島口の歴史

時代	江戸	明治	大正	昭和
交通手段		徒歩 馬車	鉄道	自動車
インフラ整備		■明治12年（1879） 国道開通	■明治30年（1897） 山陽鉄道開通（宮島駅） ■明治30年（1897） 私営棧橋設置	■昭和6年（1931） 広島電鉄 宮島駅開設 ■昭和5年（1930） 1期埋立 ■昭和32年（1957） 国道舗装完了 ■昭和38年（1963） 2期埋立

江戸時代

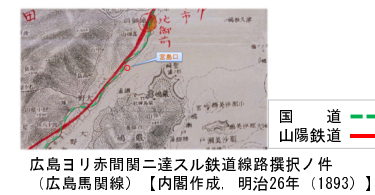
交通網は陸路（西国街道）と海路

天保国絵図・安芸国  
【江戸幕府作成、天保6年1835】

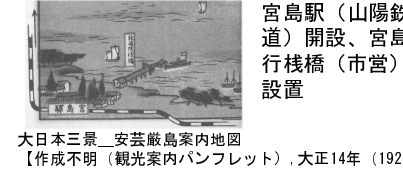


明治時代

海沿いに国道、山陽鉄道が計画・整備

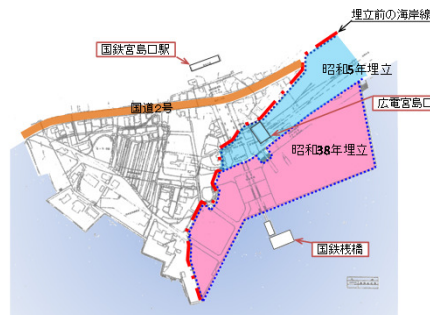


明治30年

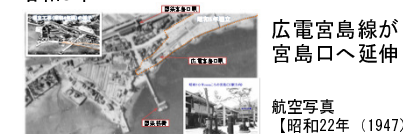


昭和時代

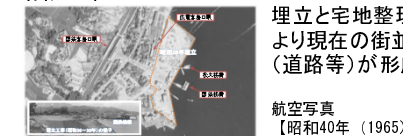
宮島口は埋立により拡張・発展



昭和6年



昭和38年



現在

厳島来訪への交通結節点（鉄道、自動車⇄船）

